



2022年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月2日

上場会社名 日本製罐株式会社
 コード番号 5905 URL <http://www.nihonseikan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 豊彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 田中 修二
 定時株主総会開催予定日 2022年6月29日 配当支払開始予定日 2022年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 048-665-1257

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	10,472	4.7	162	22.7	220	14.4	236	20.4
2021年3月期	10,983	8.3	209	410.2	258	163.8	297	368.2

(注) 包括利益 2022年3月期 389百万円 (%) 2021年3月期 701百万円 (383.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	174.63	170.68	4.6	1.6	1.5
2021年3月期	219.41	215.06	5.9	1.8	1.9

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 百万円 2021年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	13,619	5,745	35.8	3,621.04
2021年3月期	14,561	6,203	36.8	3,961.46

(参考) 自己資本 2022年3月期 4,876百万円 2021年3月期 5,357百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	416	370	43	721
2021年3月期	551	2	425	718

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期		0.00		50.00	50.00	67	22.8	1.3
2022年3月期		0.00		50.00	50.00	67	28.6	1.3
2023年3月期(予想)		0.00						

(注) 現時点では、期末配当予想を行うことは困難であることから、2023年3月期の期末配当予想については未定とすることを本日開催の取締役会において決議いたしました。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,540	6.8	12	88.8	42	72.9	29	76.4	21.41
通期	11,273	7.6	105	35.2	164	25.5	110	53.4	81.20

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.11「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期	1,392,000 株	2021年3月期	1,392,000 株
期末自己株式数	2022年3月期	45,335 株	2021年3月期	39,513 株
期中平均株式数	2022年3月期	1,354,713 株	2021年3月期	1,353,875 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	6,261	9.4	165	23.8	202	26.6
2021年3月期	6,907	19.3	217	169.4	275	358.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	149.17	145.79
2021年3月期	203.33	199.30

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	10,755	5,304	49.0	3,913.38
2021年3月期	11,641	5,799	49.6	4,266.26

(参考) 自己資本 2022年3月期 5,270百万円 2021年3月期 5,770百万円

2. 2023年3月期の個別業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,211	5.1	47	50.5	33	67.0	24.36
通期	6,552	4.6	149	9.7	103	49.0	76.03

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナワクチン接種の進捗などに伴い、政府による感染対策と経済活動の両立が図られ、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が緩和され持ち直しの動きがみられてきております。感染対策に万全を期し、政府による様々な対策の効果や実経済の改善もあり、景気の持ち直しが期待されております。

当社グループの主力品種である18L缶は、昨年のコロナ禍による大きな落ち込みからの復調傾向がみられ、塗料・食糧等を中心に出荷数の増加と昨年から続いている材料等の値上げの転嫁により、前年対比で売上高3.2%増加しております。

一方、美術缶につきましては、引き続き巣籠需要の影響もあり、前年対比で売上高3.1%増となりました。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社）の当連結会計年度の売上高は、10,472百万円（前年比4.7%減）、営業利益は162百万円（前年比22.7%減）、経常利益は220百万円（前年比14.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は236百万円（前年比20.4%減）となりました。

セグメントの概況は次のとおりです。

①金属缶製造販売事業

製品別売上高

（単位：百万円、%）

	前期		当期	
	金額	構成比	金額	構成比
18L缶	6,583	60.8	6,791	65.9
美術缶	2,723	25.2	2,808	27.2
その他	1,511	14.0	706	6.9
計	10,818	100.0	10,306	100.0

（注）前期製品別売上高「その他」には、付帯事業である外部の金属缶製造工場への設備機器売上高943百万円が含まれております。

金属缶製造販売事業の売上高は10,306百万円（前年比4.7%減）、営業利益は73百万円（前期比41.1%減）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業の売上高は165百万円（前年比0.6%増）、営業利益は88百万円（前年比4.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は6,060百万円となり、前連結会計年度末に比べ164百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が446百万円減少し、電子記録債権が199百万円、原材料及び貯蔵品が80百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,558百万円となり、前連結会計年度末に比べ777百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が145百万円、無形固定資産が28百万円増加し、投資その他の資産が951百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は13,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ942百万円減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は4,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ365百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が63百万円、設備関係支払手形が53百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金112百万円、その他（主に未払金）が276百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,137百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円減少いたしました。これは主に長期借入金155百万円、退職給付に係る負債が27百万円増加し、繰延税金負債が301百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,873百万円となり、前連結会計年度末に比べ484百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、5,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ457百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が167百万円増加し、その他有価証券評価差額金が641百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は35.8%（前連結会計年度末は36.8%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、当連結会計年度末には721百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は416百万円（前年比24.4%減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益351百万円、減価償却費472百万円、投資有価証券売却益△135百万円、売上債権の減少220百万円、たな卸資産の増加△90百万円、その他△330百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は370百万円（前期は得られた資金2百万円）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出△523百万円、投資有価証券の売却による収入159百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は43百万円（前年比89.9%減）となりました。これは主に長短有利子負債の増加37百万円、配当金の支払△67百万円、自己株式の取得による支出△14百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

足元の国内経済は、半導体不足によるすそ野の広い自動車減産の回復の遅れの影響は残るものの、新型コロナワクチン接種効果などによる個人消費、設備投資の回復による景気の持ち直しが期待されております。

一方、ウクライナ情勢等による不透明感がみられるなか、原材料価格、エネルギーコストの高騰や金融資本市場の変動、これによる需要減退によるリスクに十分注意する必要があり、また新型コロナウイルス感染症による影響にも引き続き注意する必要があります。

また、18L缶の需要は国内のあらゆる産業分野をカバーしており、消費者の皆様の食事や衛生用関連の需要にかかせない原料、半製品、製品を充填する容器として必要不可欠ですので、足元の需要が大きく落ち込むことはなく回復していくものと予測しております。

このような環境の中、翌連結会計年度(2023年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高11,273百万円、営業利益105百万円、経常利益164百万円、親会社株主に帰属する当期純利益110百万円を予想しております。

また、上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	718,599	721,318
受取手形及び売掛金	2,577,116	2,130,167
電子記録債権	1,752,715	1,952,538
商品及び製品	144,777	153,168
仕掛品	123,522	125,035
原材料及び貯蔵品	819,004	899,746
その他	90,310	79,151
貸倒引当金	△508	△453
流動資産合計	6,225,537	6,060,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,567,570	7,575,022
減価償却累計額	△5,195,419	△5,349,171
建物及び構築物 (純額)	2,372,150	2,225,850
機械及び装置	8,564,167	8,513,922
減価償却累計額	△7,765,229	△7,537,610
機械及び装置 (純額)	798,938	976,312
車両運搬具	36,768	35,958
減価償却累計額	△36,768	△35,958
車両運搬具 (純額)	0	0
工具、器具及び備品	687,594	687,940
減価償却累計額	△644,920	△649,357
工具、器具及び備品 (純額)	42,674	38,583
土地	972,170	972,170
リース資産	17,446	17,446
減価償却累計額	△3,198	△6,687
リース資産 (純額)	14,247	10,758
建設仮勘定	96,943	218,955
有形固定資産合計	4,297,125	4,442,631
無形固定資産		
ソフトウェア	187,531	132,163
ソフトウェア仮勘定	—	85,780
のれん	993	—
リース資産	3,402	2,569
その他	1,923	1,923
無形固定資産合計	193,851	222,436
投資その他の資産		
投資有価証券	3,821,294	2,857,470
退職給付に係る資産	186	353
破産更生債権等	—	26,770
その他	23,626	18,226
貸倒引当金	—	△9,525
投資その他の資産合計	3,845,107	2,893,295
固定資産合計	8,336,083	7,558,362
資産合計	14,561,620	13,619,035

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,108,755	3,171,773
1年内返済予定の長期借入金	1,019,933	907,108
リース債務	4,754	4,754
未払法人税等	131,433	27,808
未払事業所税	21,049	21,219
賞与引当金	84,145	95,056
設備関係支払手形	94,194	147,243
その他	638,268	361,624
流動負債合計	5,102,532	4,736,587
固定負債		
長期借入金	1,809,409	1,964,842
リース債務	14,660	9,905
繰延税金負債	1,169,795	867,872
退職給付に係る負債	192,448	219,948
役員退職慰労引当金	11,682	11,682
資産除去債務	18,170	19,254
その他	39,875	43,663
固定負債合計	3,256,041	3,137,168
負債合計	8,358,574	7,873,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	738,599	738,599
資本剰余金	245,373	245,373
利益剰余金	2,113,864	2,281,650
自己株式	△43,947	△51,865
株主資本合計	3,053,888	3,213,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,303,935	1,662,567
その他の包括利益累計額合計	2,303,935	1,662,567
新株予約権	29,127	34,256
非支配株主持分	816,094	834,699
純資産合計	6,203,046	5,745,279
負債純資産合計	14,561,620	13,619,035

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	10,983,007	10,472,199
売上原価	9,522,753	8,978,544
売上総利益	1,460,253	1,493,655
販売費及び一般管理費		
従業員給与及び手当	286,038	288,787
役員報酬	85,197	130,831
株式報酬費用	7,023	9,456
賞与引当金繰入額	20,978	24,044
退職給付費用	12,114	13,495
運賃及び荷造費	460,170	483,360
支払手数料	96,553	104,929
減価償却費	69,630	72,461
のれん償却額	3,972	993
その他	208,733	203,068
販売費及び一般管理費合計	1,250,411	1,331,428
営業利益	209,841	162,226
営業外収益		
受取利息	166	31
受取配当金	52,359	73,109
雇用調整助成金	74,494	83,766
その他	22,340	28,748
営業外収益合計	149,360	185,654
営業外費用		
支払利息	18,841	14,473
貸倒引当金繰入額	—	9,525
シンジケートローン手数料	1,000	—
休業手当	78,532	100,007
その他	2,688	2,984
営業外費用合計	101,062	126,991
経常利益	258,140	220,889
特別利益		
投資有価証券売却益	191,435	135,684
特別利益合計	191,435	135,684
特別損失		
固定資産除却損	2,776	5,372
特別損失合計	2,776	5,372
税金等調整前当期純利益	446,799	351,201
法人税、住民税及び事業税	144,253	97,536
法人税等調整額	△18,150	△13,587
法人税等合計	126,103	83,948
当期純利益	320,696	267,253
非支配株主に帰属する当期純利益	23,648	30,680
親会社株主に帰属する当期純利益	297,048	236,572

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	320,696	267,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	380,310	△656,690
その他の包括利益合計	380,310	△656,690
包括利益	701,007	△389,437
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	669,998	△404,795
非支配株主に係る包括利益	31,008	15,358

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	738,599	245,373	1,858,674	△48,272	2,794,374
当期変動額					
剰余金の配当			△40,477		△40,477
親会社株主に帰属する 当期純利益			297,048		297,048
自己株式の取得				△8,240	△8,240
自己株式の処分		△1,381		12,565	11,183
自己株式処分差損の振替		1,381	△1,381		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	255,189	4,324	259,514
当期末残高	738,599	245,373	2,113,864	△43,947	3,053,888

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,929,285	1,929,285	31,777	785,086	5,540,524
当期変動額					
剰余金の配当					△40,477
親会社株主に帰属する 当期純利益					297,048
自己株式の取得					△8,240
自己株式の処分					11,183
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	374,650	374,650	△2,650	31,008	403,008
当期変動額合計	374,650	374,650	△2,650	31,008	662,522
当期末残高	2,303,935	2,303,935	29,127	816,094	6,203,046

当連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	738,599	245,373	2,113,864	△43,947	3,053,888
当期変動額					
剰余金の配当			△67,624		△67,624
親会社株主に帰属する 当期純利益			236,572		236,572
自己株式の取得				△14,812	△14,812
自己株式の処分		△1,162		6,894	5,732
自己株式処分差損の振替		1,162	△1,162		—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	167,786	△7,918	159,867
当期末残高	738,599	245,373	2,281,650	△51,865	3,213,756

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,303,935	2,303,935	29,127	816,094	6,203,046
当期変動額					
剰余金の配当					△67,624
親会社株主に帰属する 当期純利益					236,572
自己株式の取得					△14,812
自己株式の処分					5,732
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△641,368	△641,368	5,129	18,604	△617,634
当期変動額合計	△641,368	△641,368	5,129	18,604	△457,766
当期末残高	1,662,567	1,662,567	34,256	834,699	5,745,279

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	446,799	351,201
減価償却費	470,697	472,733
のれん償却額	3,972	993
株式報酬費用	7,023	9,456
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△329	9,471
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,473	10,911
雇用調整助成金	△74,494	△83,766
休業手当	78,532	100,007
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	23,065	27,500
受取利息及び受取配当金	△52,525	△73,140
支払利息	18,841	14,473
固定資産除却損	2,776	1,564
投資有価証券売却損益 (△は益)	△191,435	△135,684
売上債権の増減額 (△は増加)	△452,354	220,354
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△147,643	△90,646
仕入債務の増減額 (△は減少)	122,318	63,018
その他	275,746	△330,428
小計	547,462	568,020
利息及び配当金の受取額	52,525	73,140
利息の支払額	△18,782	△14,656
雇用調整助成金の受取額	57,319	88,372
休業手当の支払額	△78,532	△100,007
法人税等の還付額	11,022	—
法人税等の支払額	△19,807	△198,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	551,208	416,529
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△220,561	△457,961
無形固定資産の取得による支出	△7,531	△65,686
投資有価証券の取得による支出	△6,304	△6,344
投資有価証券の売却による収入	236,836	159,697
資産除去債務の履行による支出	—	△336
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,438	△370,631
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	750,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,121,162	△1,157,392
リース債務の返済による支出	△7,355	△4,754
配当金の支払額	△40,477	△67,624
自己株式の売却による収入	1,509	1,404
自己株式の取得による支出	△8,240	△14,812
財務活動によるキャッシュ・フロー	△425,726	△43,179
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	127,920	2,719
現金及び現金同等物の期首残高	590,678	718,599
現金及び現金同等物の期末残高	718,599	721,318

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準の適用による連結財務諸表への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内において18L缶、美術缶等を製造販売する金属缶製造販売事業、建物及び土地を賃貸する不動産賃貸事業の二つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表計上額
	金属缶製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,818,399	164,607	10,983,007	—	10,983,007
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,818,399	164,607	10,983,007	—	10,983,007
セグメント利益	124,556	85,285	209,841	—	209,841
セグメント資産	9,257,285	658,418	9,915,704	4,645,916	14,561,620
その他の項目					
減価償却費	430,440	40,257	470,697	—	470,697
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	267,352	7,757	275,109	—	275,109

(注) 1. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない現金及び預金並びに投資有価証券が含まれる全社資産であります。

3. 金属製缶製造販売事業の外部顧客への売上高には、付帯事業である外部の金属缶製造工場への製造設

備機器売上高943,285千円が含まれております。

4. 「収益認識に関する会計基準」第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度については収益の分解情報を記載しておりません。

当連結会計年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表計上額
	金属缶製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
18L缶	6,791,188	—	6,791,188	—	6,791,188
美術缶	2,808,764	—	2,808,764	—	2,808,764
その他	706,705	—	706,705	—	706,705
顧客との契約から生じる収益	10,306,658	—	10,306,658	—	10,306,658
その他の収益	—	165,541	165,541	—	165,541
外部顧客への売上高	10,306,658	165,541	10,472,199	—	10,472,199
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,306,658	165,541	10,472,199	—	10,472,199
セグメント利益	73,422	88,803	162,226	—	162,226
セグメント資産	9,330,937	619,678	9,950,615	3,668,419	13,619,035
その他の項目					
減価償却費	432,759	39,974	472,733	—	472,733
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	654,760	1,234	655,994	—	655,994

(注) 1. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない現金及び預金並びに投資有価証券が含まれる全社資産であります。

3. 「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入です。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	3,961.46円	3,621.04
1株当たり当期純利益	219.41円	174.63
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	215.06円	170.68

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	297,048	236,572
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	297,048	236,572
期中平均株式数(株)	1,353,875	1,354,713
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	27,336	31,369
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	6,203,046	5,745,279
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	845,221	868,956
(うち新株予約権(千円))	(29,127)	(34,256)
(うち非支配株主持分(千円))	(816,094)	(834,699)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,357,824	4,876,323
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,352,487	1,346,665

(重要な後発事象)

該当事項はありません。